

十月十日 標記労働争議ニ於ケル其後ノ状況左記ノ通

標記労働争議ニ於ケル其後ノ状況左記ノ通
記

一、其後ノ交渉状況

東京華工組合主催者無本虎被解雇職工仲間、久保野口、
三名及び職工工務基ノ五名ハ七月十日午後日本
橋區縁向第一号ビル在堂業所ニ小林支配人ヲ訪問シ
工場長飯川安左郎工場監督江村豊治主會ノ上會息解
雇職工ノ復職方ニ勸シ極力嘆願スル義アリタル如小
林支配人ハ昨夜幹部ト協議シタル結果有ニ述ハレ如
ク事業不振ノ為メ経営困難ニ付復職モシムル事不能
ナリト拒絶シタルニ代表等ハ職工ノ苦境ヲ斯クノ如

ク訴ク嘆願スルモ諦解ナキハ人通ニ及スル行為ナリ
ト難談シ可成穩便ニ解決セント欲シタルモ此後ニ至
リテハ止ムヲ得ナルニ付要求書ヲ提出スト移レ別記
一、職工要求書ヲ提出シテ退出セリ

二、従業員側ノ行動

前記代表者等五名ハ交渉決裂シテ要求書提出後府下
西新井町大字兵野六二六一号事務所ニ引揚ケ従業員
ニ對シ會見ノ趣旨ヲ報告シタルニ従業員ハ工場側ノ
不滿意ヲ憤慨シ全所ヲ暴激シ本部ト激シ徹底的抗争
スルコト、シ対策協議ノ上翌十六日午前六時三十分
組合加島ノ職工約六十名華工本部ニ集合シ組合主
事松本虎治ノ指揮ニヨリ會七時大學シテ工場ニ入り